

## 各業務：地域医療連携室

### 1. 地域医療連携室

#### －体制－

事務職：男性 2 名、女性 6 名  
 （常勤 1 名、非常勤 2 名、臨時職員 5 名）  
 看護職：女性 1 名（副看護局長兼務）

#### －業務－

地域医療連携室は、地域の保健・医療・福祉機関などと連携をはかり、地域ぐるみの医療サービスシステムを効率よく円滑に運用していくことを目指している。

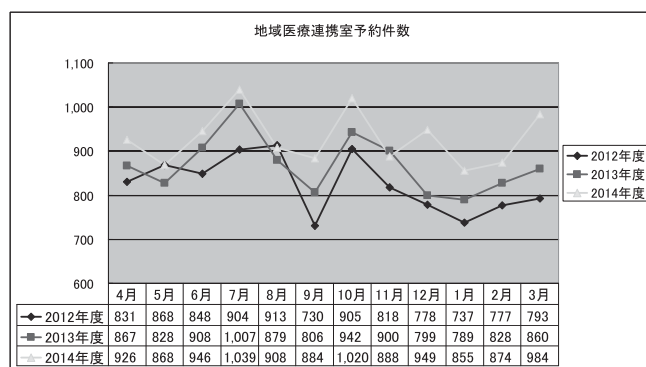
地域医療連携室は地域の中核病院として、かかりつけ医である開業医の先生方、地域の病院の先生方、福祉関連事業所の担当者さまと連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務をおこなっている。

#### －実績－

地域医療予約件数（2014年4月～2015年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	926	868	946	1,039	908	884	1,020	888	949	855	874	984	11,141

（詳細：別表「診療科別データ」参照）



※地域予約件数（月別）を年度比較した数値をグラフ化したデータ（2012年度～2014年度）

年度推移からも地域医療連携室を経由した紹介依頼件数は安定し、全体的には少しずつ増加傾向にある。

#### 診療科別データ

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内分泌代謝内科	27	18	6	17	19	22	24	13	22	9	22	12	211
総合内科・感染症内科	5	13	21	16	13	16	13	21	13	13	12	19	175
血液内科	13	16	18	14	11	20	14	12	16	9	12	19	174
腎臓内科	28	27	34	42	27	26	29	20	31	32	31	27	354
消化器科内科	34	27	26	27	41	34	33	40	53	26	32	26	399
循環器科内科	111	110	98	120	88	79	124	84	122	91	100	82	1,210
呼吸器科内科	16	8	25	29	29	30	23	34	36	26	10	28	294
肺腫瘍内科	6	8	15	18	12	13	6	13	16	14	10	13	144
神経内科	19	16	23	21	15	17	16	14	21	19	16	21	218
小児科	17	12	11	20	17	22	16	11	18	22	12	24	202
外科	55	58	70	69	63	65	76	60	48	61	54	63	742
呼吸器外科	5	4	8	4	2	2	4	0	0	1	2	1	33
心臓血管外科	8	16	20	17	14	19	15	12	12	11	17	16	173
脳神経外科	49	45	38	52	35	33	48	51	51	47	35	53	537
整形外科	41	33	45	44	33	33	40	44	30	28	37	37	445
形成外科	34	33	39	35	39	29	42	34	20	27	27	32	391
眼科	17	15	15	19	14	18	25	16	16	4	0	0	159

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳鼻咽喉科	50	55	62	77	71	67	72	65	62	79	64	68	792
泌尿器科	30	37	26	35	25	27	34	33	34	36	35	43	395
産婦人科	41	46	43	40	44	44	41	47	52	49	48	54	549
放射線科	203	178	191	198	166	153	202	165	145	158	183	189	2,131
放射線治療科	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	2	2	10
麻酔科	0	0	4	1	2	3	1	0	2	1	2	2	18
リハビリテーション科	0	3	3	2	2	1	1	2	3	0	0	1	18
口腔外科	105	84	98	115	114	101	104	87	119	88	104	143	1,262
救急科	7	5	5	3	12	7	16	9	4	2	6	7	83
救命診療科	2	1	2	3	0	2	1	0	3	2	3	2	21
小計	926	868	946	1,039	908	884	1,020	888	949	855	874	984	11,141

#### ① 紹介率・逆紹介率（2014年4月～2015年3月）（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	67.1	71.4	69.7	72.6	70.4	71.3	74.4	70.7	69.6	75.6	69.7	72.0	71.2
逆紹介率	98.5	111.6	112.7	119.7	116.4	125.7	132.0	132.6	135.5	153.3	163.0	184.2	131.4

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

本年度より、地域医療支援病院の紹介率・逆紹介率の算出基準が変更となり、新たな基準にて算出することとなった。2014年度は紹介率が71.2%、逆紹介率が131.4%で、地域医療支援病院の要件である「紹介率が50%以上かつ逆紹介率70%以上」を十分に達成した。

#### ② 地域連携クリティカルパス導入件数

（2014年4月～2015年3月）

地域医療連携室では、病診・病病連携の推進の一環として、地域連携クリティカルパスの導入に積極的に関わっている。

#### ●がん地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳がん	1	1	0	2	5	3	10	5	3	8	6	6	50
肝がん	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	4
胃がん	0	0	2	0	0	1	2	2	0	4	4	1	16
大腸がん	3	7	8	8	2	14	5	3	3	5	6	4	68
合計	4	8	10	11	7	18	20	10	6	17	16	11	138

#### ●脳卒中地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中	9	8	10	15	11	12	7	4	10	9	11	10	116

#### ●急性心筋梗塞地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
急性心筋梗塞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

#### ●大腿骨地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腿骨頸部骨折	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5

#### ③ 医療従事者対象の勉強会・研修会（事務局）

地域医療連携室では、医師会をはじめとした地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

#### <りんくうカンファレンス>

隔月（奇数月）の第3木曜日に開催している。（主催は泉佐野泉南医師会）

2014年度は計7回開催された。

【詳細は院内行事のページ参照】

＜臨床集談会＞

毎月の第4木曜日に開催している。地域の医療従事者および当院の研修医向けの内容。

【詳細は院内行事のページ参照】

④ 市民健康講座の開催

＜市民健康講座＞

8月・12月を除く毎月第3土曜日に、当院3階大会議室において市民健康講座を開催している。

【詳細は院内行事のページ参照】

⑤ その他

＜第3回 りんくう地域医療懇話会＞

2014年11月8日（土）、『第3回 りんくう地域医療懇話会』を開催した。（於：スターゲイトホテル関西エアポート6階 RICC ホール・アクアマリン）

今回は大阪府泉州救命救急センターの設立20周年を記念するイベントを企画し、第1部では泉州救命救急センターの軌跡を振り返るとともに、ゆかりのある方々を招聘しパネルディスカッションを行った。

「泉州救命20周年記念フォーラム」

1.開会のあいさつ

地方独立行政法人りんくう総合医療センター  
八木原 俊克理事長

2.基調講演

「大阪府泉州救命救急センター20年の軌跡」  
りんくう総合医療センター副病院長  
兼大阪府泉州救命救急センター所長  
松岡 哲也所長

3.パネルディスカッション

「地域医療と救急医療を考える」  
～泉州救命救急センターの役割：過去、現在、そして未来へ～  
（パネリスト）  
市立堺病院 横田 順一郎副病院長（前泉州救命救急センター所長）  
りんくう総合医療センター 藤田 毅名誉総長（初代総長）  
地方独立行政法人りんくう総合医療センター 八木原 俊克理事長  
大阪府泉州救命救急センター 松岡 哲也所長  
大阪府健康医療部保健医療室 永井 仁美医療対策課長（司会進行）  
大阪府政策企画部戦略事業室 金森 佳津副理事

＜泉州南部診療情報連携システム（通称：なすびんネット）整備事業＞

地域医療再生基金の事業として、なすびんネットの整備事業を展開した。2013年10月より試行運用を経て、2014年4月より本番稼働を開始した。今年度だけで684件の同意取得件数があった。

●なすびんネット同意取得数（2014 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
同意取得数	82	51	68	79	54	36	40	45	52	44	56	77	684

2. 地域医療連携室（MSW）

—体制—

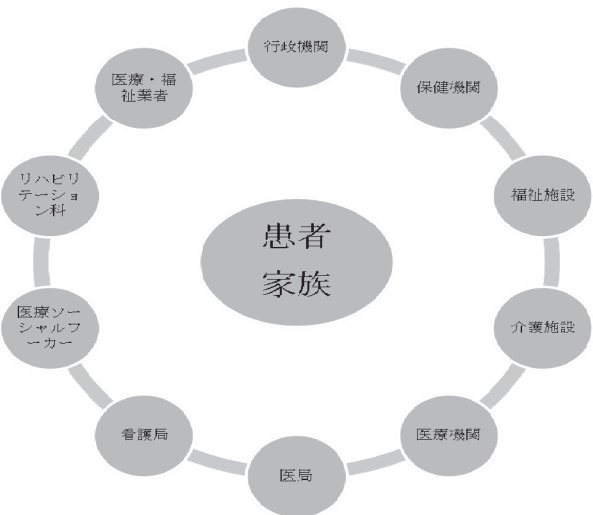
医療ソーシャルワーカー（MSW）6名（社会福祉士5名）：男性2名、女性4名（常勤5名、非常勤1名）

今年度の体制は、7月に医療ソーシャルワーカー1名増員となり、従来の5名体制から6名での体制となった。

—業務—

MSWは患者さんとその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域の関係機関との連携を密にし、患者さんが安心して療養できるよう支援することを目的とした業務をおこなっている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。



—基本方針—

■中立的な立場から、患者・家族等と関係職種・医療機関との信頼関係の構築を支援する。

■必要に応じて関係職種、関係機関との連携を図り、相互に情報・意見交換を行い、相談援助体制を構築する。

■患者の自律性、主体性を尊重し、患者との積極的な関わりのもと問題整理を援助し、解決方策の選択肢を提示する。

■社会的に求められる守秘義務を遵守する。

■最良の実践をおこなうために研修などに参加し、専門性の向上に努める。

## 一実績一

昨年度に引き続き、退院調整加算や新生児特定集中治療室退院調整加算、退院時共同指導料、介護支援連携指導料、救急搬送患者地域連携紹介加算の算定に向けた取り組みとして、医局・看護局との連携により、2013年度より病棟と協働し、積極的に患者の在宅復帰の支援を行い、退院支援計画書の運用や各関係機関と連携し、退院前カンファレンスを行い、介護支援連携指導料に結びつくよう取り組んでいる。

相談内容の中で最も多かった項目は例年通り、転院調整であったが、調整件数は1,085件(前年度は974件)とはじめて1,000件を超えることとなり、1月あたり約90件(入院患者のみ)の調整ということになった。また在宅調整についての相談も前年度と比較して増加(209件から265件へ)しており、年々増加傾向にある。

今年度の実績では、延べ相談支援件数は新規・継続合わせて7,745件であり、一日あたり約32件(前年度は約43件)の相談に応じている。相談援助内容のうち転院調整が例年通り最も多く、全体の約62%であった。

周産期においては、妊婦の抱える様々な社会的な問題の支援、関係機関との連携を密におこなっており、産科医とともに「安心母と子の委員会」に参加した。2012年9月より「妊婦等について悩まれている方のための相談援助事業」が大阪府下で開始となり、妊婦期からの妊娠・出産・子育て等に係る相談体制等が整備され、当院も継続して地域の後方支援病院としての役割を担うこととなっている。

## 一対外活動実績一

### ① 大阪府産婦人科医会

安心母と子の委員会に6月19日、9月2日、10月7日、1月13日の計4回出席。

- ・平成26年度未受診妊婦実態調査

- ・行政・医療機関向け研修会(2015年1月15日)

「特定妊婦の連携と支援について-医療と行政の連携-

「大阪府未受診妊婦調査報告」

- ・大阪府内中学校高等学校向け研修会(2015年2月28日)

「10代の妊娠について考える-子どもたちの心の揺れに寄り添う-

- ・泉佐野市周産期支援部会 等

### ② 南泉州地域医療介護連携協議会

5月15日、10月16日、2月24日の計3回開催。

泉州圏域における地域リハ推進活動、介護事業所との連携をテーマに南泉州地域の介護・医療のこれからの連携について、協議会を通して検討した。(於:阪南市民病院)

### ③ 大阪緊急連携ネットワーク 地域連携担当者会議

4月22日、7月22日、10月28日、1月30日の計4回開催(主催は日本慢性期医療協会)され、3次救急病院と慢性期病床の連携カンファレンスをおこなった。

### ④ 自殺未遂者支援事例検討会

毎月第一火曜日に出席している。(主催は大阪府こころの健康総合センター)

2014年度は計7回開催され、府内における自殺未遂者及びその家族に対する地域関係機関との連携支援についての課題や解決方策について事例を提出し、検討した。

### ⑤ 地域包括ケア会議

各関係機関の現状報告(各地域包括支援センター、保健所、保健センター、泉佐野市役所、当院)で主に高齢者の生活・住宅について協議・事例検討会をおこなった。

### ⑥ 大腿骨地域連携パス会議

地域連携パス定例検討会に出席。

南泉州地域における大腿骨地域連携パスの運用について協議した。

### ⑦ 泉州地域リハ連携会議

7月2日、1月25日の計2回開催(事務局:府中病院)

南泉州地域におけるリハビリについての課題について急性期病院、回復期リハ病院、医療療養型病院、連携開業医と情報共有をおこない、地域連携パスの運用について協議した。

【相談業務実績】

	区分		援助方法			援助対象					援助内容						
	新規	継続	面談	電話	文書 (メール・FAX)	本人	家族	関係者 (知人・後見人)	院内スタッフ	院外	転院調整	在宅調整	受診・受療	心理的問題	経済的問題	制度紹介	院内調整
4月	199	465	298	571	160	213	324	5	473	504	426	92	36	50	43	67	52
5月	230	399	284	566	172	210	332	1	474	426	315	97	51	76	61	84	58
6月	195	413	262	509	142	179	290	3	379	398	367	68	69	56	37	38	52
7月	232	540	314	664	183	243	370	2	470	546	462	112	75	59	34	62	64
8月	180	495	263	617	188	188	354	5	419	515	484	69	70	47	12	35	47
9月	170	450	289	533	180	222	316	2	405	458	439	63	48	50	25	43	33
10月	205	519	282	602	192	216	329	3	425	505	493	82	52	45	32	46	36
11月	149	367	220	437	151	138	280	0	323	367	382	48	30	22	17	34	24
12月	158	417	230	515	163	144	298	2	366	446	405	78	30	33	17	12	21
1月	190	558	319	639	212	210	404	3	422	528	575	62	21	22	50	18	16
2月	149	446	241	499	159	169	316	6	400	417	448	59	8	17	27	11	21
3月	193	426	261	515	174	178	308	5	398	439	418	73	15	32	30	25	27
計	2,250	5,495	3,263	6,667	2,076	2,310	3,912	37	4,954	5,549	5,214	903	830	509	385	475	451

【転院調整実績】（外来から他院、入院から他院への転院）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来から他院	5	9	13	8	14	7	8	9	11	12	9	18	123
入院から他院	61	79	84	97	101	93	103	76	94	95	104	93	1,080

【急性期病棟等退院調整加算 1 算定状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援計画書 作成件数	23	29	20	30	40	30	30	25	12	21	15	11	286
算定件数	32	30	26	20	38	40	27	27	20	6	7	10	283

【相談援助内容内訳】

